

年間拡大運動事業計画書(案)

審議

- フォルダ名 : 【審議】年間拡大運動事業計画書(案)_1221
- 事業名 : 拡大マインド醸成推進プロジェクト
- 委員会名 : 新しい絆委員会
- 専務理事 : 齋藤 和也
- 副理事長 : 遠藤 重樹
- 委員長・事務局長 : 廣田 拓也
- 文書作成者 : 廣田 拓也
- 確認日 : 2025年 12月 21日
- 確認日 : 2025年 12月 21日
- 確認日 : 2025年 12月 21日
- 作成日 : 2025年 12月 21日

事業要綱

1. 運動で目指す理想の未来	燕三条青年会議所の拡大運動が一過性の活動に留まらず、共感と共鳴を通じて持続的に人と人をつなぐ場として定着し、全メンバーが当事者意識をもって地域発展に貢献する未来。
2. 実施に至る背景	近年、会員数の伸び悩みや活動参画意欲の低下が見られ、組織基盤の弱体化が懸念されている。この課題を克服するためには、単なる会員数増加にとどまらず、自分の言葉で活動の価値を語り、自然と周囲に共感の輪を広げていく、理念共感を軸とした共創の拡大運動を展開する必要がある。
3. 目的	(対外) なし (対内) メンバー一人ひとりが拡大運動の意義を理解し、自らの活動を通じて価値を語り共感の輪を広げることで、年間30名以上の新入会員を導く。
4. 実施日と実施までのスケジュール	<p>■実施日 2026年1月1日～2026年12月31日</p> <p>●拡大セミナー 2026年2月17日(火)開会19:00～閉会20:38(受付18:45～)</p> <p>実施日選定理由 本来であれば1月中に行うことが拡大に対する意義を理解し、より良い拡大運動の契機になりますが、両講師との打ち合わせの回数を2回設けるための日数の確保と2月中で行うのであれば各事業や委員会ウィーク等を考慮し、記載の通り2月17日が適正であると判断し実施日とさせていただきます。</p> <p>●異業種交流会 ①2026年3月13日(金)開会19:00～閉会21:00(受付18:30～) ②2026年6月19日(金)開会19:00～閉会21:00(受付18:30～) ③2026年9月16日(水)開会19:00～閉会21:00(受付18:30～)</p> <p>実施日選定理由 当委員会が拡大候補者並びに当会に興味を持っている方々へ周知する事業としては3回行いますが、本計画書記載の通り、LOMメンバーの皆様には必ず1人につき1ミニ交流会を行っていただきます。(メンバーへの依頼事項に記載有)その為、毎月異業種交流会を行う事はLOMメンバー皆様への負担が大きくなることと広報に関する予算の兼ね合い上、3回が適切であると考えます。また1回目を3月に行う理由として、拡大セミナー後に行う事で該当候補者に良いアプローチの仕方ができると考えます。毎月のLOMでの事業や各種事業日を考慮し、記載の通り3月13日(金)、6月19日(金)、9月16日(水)が最も適切であると判断し実施日とさせていただきます。</p> <p>■検証期間</p>

2026年1月1日～2026年10月31日

■実施前後のスケジュール

[参. 5\) 広報戦略シート](#)

■実施までのスケジュール

いつ	どこで	なにを
年間を通じて		拡大運動・拡大リストの拡充・OBOGその他地場の企業訪問
12月1日(月)	次年度第3回委員会	委員会にて拡大ミーティング
12月26日(金)	次年度第4回委員会	拡大ミーティング
1月13日(火)	未定	スタッフミーティング
1月14日(水)	電話	拡大進捗確認
1月14日(水)	SMBC日興証券	講師打合せ①
1月15日(木)	(株)スノーピーク	講師打合せ①
1月16日(金)	電話	1回目出欠確認
1月27日(火)～ 29日(木)	各会場	拡大セミナーキャラバン
1月28日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
2月3日(火)	電話	2回目出欠確認
2月4日(水)	各種SNS	拡大セミナー告知
2月上旬	公式LINE 全体メール Facebook	HP・SNSで交流会情報を告知
2月4日(水)	(株)スノーピーク	講師打合せ②
2月6日(金)	SMBC日興証券	講師打合せ②
2月11日(水)	電話	拡大進捗確認
2月16日(月)	三条中央公民館	前日リハーサル
2月17日(火)	三条中央公民館	講師による拡大セミナー
2月18日(水)	電話 公式LINE 全体メール Facebook	講師・参加者へ御礼
2月18日(水)～ 下旬	電話	異業種交流会出欠確認およびオブザーバーの募 集
2月25日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
3月11日(水)	電話	拡大進捗確認
3月13日(金)	NI to WA	異業種交流会①
3月14日(土)～ 3月18日(水)	電話	参加者へ御礼、クロージング活動
3月25日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
4月8日(水)	電話	拡大進捗確認
4月22日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施

	5月上旬	公式LINE 全体メール Facebook	HP・SNSで交流会情報を告知
	5月13日(水)	電話	拡大進捗確認
	5月18日(月)～ 下旬	電話	異業種交流会出欠確認およびオブザーバーの募集
	5月27日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
	6月10日(水)	電話	拡大進捗確認
	6月19日(金)	シユシユール	異業種交流会②
	6月21日(日)～ 6月28日(日)	電話	参加者へ御礼、クローヅング活動
	6月24日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
	7月8日(水)	電話	拡大進捗確認
	7月22日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
	8月上旬	公式LINE 全体メール Facebook	HP・SNSで交流会情報を告知
	8月6日(木)	電話	拡大進捗確認
	8月17日(月)～ 下旬	電話	異業種交流会出欠確認およびオブザーバーの募集
	8月26日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
	9月9日(水)	電話	拡大進捗確認
	9月16日(水)	Bit	異業種交流会③
	9月17日(木)～ 9月24日(木)	電話	参加者へ御礼、クローヅング活動
	9月23日(水)	電話	拡大進捗確認、ミニ交流会に参加された見込み 入会候補者がリストに入っているか確認し、月2 回(上旬と下旬)モニタリングを実施
	10月末		ミニ交流会、異業種交流会実施期間最終日 理念共感プロセス評価シート実施

5. 実施場所	<p>・講師招聘セミナー 会場 三条中央公民館 1階大集会室 住所 三条市元町13番1号</p> <p>参. 17)会場比較検討資料(セミナー) 参. 6)会場図・会場設営イメージ図</p> <p>・3月交流会 会場 NI to WA 住所 新潟県三条市柳場新田1342-1</p> <p>会場選定理由 過去交流会の実績があり、景観もよく現役メンバーの会社でもあるため。</p> <p>・6月交流会</p>
---------	---

	<p>会場 シュシュール 住所 燕市井土巻3丁目146</p> <p>会場選定理由 過去交流会の実績があり、県央地域でアクセスも良いため。</p> <p>・9月交流会 会場 Bit 住所 三条市須頃1丁目17番地 1F 燕三条地場産業振興センター内</p> <p>会場選定理由 過去交流会の実績があり、県央地域でアクセスも良いため。</p> <p>参. 21) 会場比較検討資料(交流会)</p>
--	--

事業詳細

<p>6. 事業内容 (目的達成のための手法)</p>	<p>1. 拡大マインドの醸成</p>	<p>(1) 講師招聘セミナー開催</p>	<p>久保大輔先輩と新潟JCOB 井浦義太氏を講師として迎える。 【テーマ】 井浦氏: 拡大運動の意義および重要性とJCの価値 久保氏: 人材採用および人材育成のポイントと地域ブランド創出の重要性</p> <p>(狙い) 会員拡大の意義と自己成長の関係を学ぶセミナーを開催し、全会員の拡大意識を向上させる。 参. 7) 講師選定リスト・選定理由 参. 8) 講師LOM経歴 参. 9) 拡大セミナー後アンケート 参. 10) 会員数増減リスト(2011年～2024年) 参. 11) 会員定着率(2013年～2023年) 参. 12) 講師打ち合わせ 参. 19) シナリオ(セミナー)</p>
	<p>2. 認知拡大の強化と見込み入会候補者の発掘</p>	<p>(1) 異業種交流会</p>	<p>年3回(3月・6月・9月)の交流会をきっかけに、青年会議所の活動内容、方針を知っていただく場とし、新たな仲間へ共鳴の輪を広げる。 審. 1) 交流会チラシ①(3月) 審. 2) 交流会チラシ②(3月) 審. 3) 交流会チラシ③(3月) 審. 4) 交流会チラシ①(6月) 審. 5) 交流会チラシ②(6月)</p>

		審. 6) 交流会チラシ③(6月) 審. 7) 交流会チラシ①(9月) 審. 8) 交流会チラシ②(9月) 審. 9) 交流会チラシ③(9月) 審. 10) 異業種交流会後アンケートフォーム 審. 11) 申込みフォーム(3月) 審. 12) 申込みフォーム(6月) 審. 13) 申込みフォーム(9月) 参. 20) シナリオ(交流会共通)
	(2)ミニ交流会	<p>1月1日～10月31日までに1メンバー1ミニ交流会を実施し、1名以上の入会候補者を招待する。開催場所、開催日時、開催メンバーを自身で選定し、自らの言葉で理念と活動を発信してもらう。ミニ交流会の規模は問わないものとする。ミニ交流会開催前には開催日時・場所等を2026年度全体LINEで告知し、完了報告として開催風景を画像、動画、テキスト等で報告する。新しい絆委員会がミニ交流会管理表をもとに、都度状況を管理する。</p> <p>※新しい絆委員会は主管で交流会を開催するため、所属メンバーは対象外とする。</p> <p>(狙い) 拡大運動の持続的な体制構築と拡大意義の醸成 参. 14) 2026拡大リスト 参. 15) 拡大実績(2013年～2024年) 参. 22) ミニ交流会管理表</p>

■事業当日のタイムスケジュール

・2月17日(火) 三条中央公民館 1階大集会室
 拡大セミナー

当日のタイムスケジュール(計画)		
時刻	所要時間(分)	内容
18:00	45分	委員会メンバー集合、会場設営・リハーサル
18:45	15分	受付
19:00	1分	開会
19:01	2分	趣旨説明 中山 副委員長
19:03	1分	講師入場
19:04	5分	理事長挨拶 酒井 理事長
19:09	30分	講師によるセミナー(井浦義太先輩 30分/1人)
19:39	1分	準備
19:40	30分	講師によるセミナー(久保大輔先輩 30分/1人)
20:10	15分	質疑応答

20:25	2分	謝辞	遠藤 副理事長
20:27	3分	記念品の贈呈	
20:30	2分	全体記念写真	
20:32	1分	講師退場	
20:33	5分	事業後アンケート	
20:38	1分	閉会	
20:39	10分	完全撤収	

■事業当日のタイムスケジュール

- ①3月13日(金) NI to WA ※予約済み
 - ②6月19日(金) シュシュール ※予約済み
 - ③9月16日(水) Bit ※予約済み
- 異業種交流会

当日のタイムスケジュール(計画)		
時刻	所要時間(分)	内容
17:30	60分	委員会メンバー集合、会場設営
18:30	30分	受付
19:00	1分	開会
19:01	3分	理事長挨拶・乾杯
19:04	40分	歓談
19:44	20分	アトラクション
20:04	51分	歓談
20:55	2分	中締め
20:57	3分	アンケート
21:00	3分	閉会
21:03~	15分	会場撤収・2次会移動

7. 対外で連携するパートナー種別(各種団体・行政・企業・個人) 株式会社スノーピーク、SMBC日興証券株式会社

8. 対内で連携するパートナー種別(日本、地区、ブロック、各LOM、シニア) シニアクラブ久保大輔先輩、新潟青年会議所OB

9. 目的達成の検証方法
 講師招聘セミナーおよび異業種交流会等を通じて、会員一人ひとりの「拡大運動に対する理解度」「行動意欲」「理念浸透度」の変化を数値化し、次年度以降の拡大活動に活かすことを目的とする。
 ①1月から12月末までの入会数純増30名で目的達成とする。
 ②四半期(1月・4月・7月・10月)に1度、全メンバーへ短いミニアンケートを実施し、各メンバーのスコア推移を可視化。1月~10月末までにすべての設問の回答が平均3.5以上で目的達成とする。

[参. 13\) 拡大意識・理念共感プロセス評価シート\(1・4・7月\)](#)

[参. 23\) 拡大意識・理念共感プロセス評価シート\(10月\)](#)

月	達成度	備考
1月末	13%	新入会員4名加入(ミニ交流会5回開催)
2月末	23%	新入会員3名加入(ミニ交流会4回開催)
3月末	33%	新入会員3名加入(ミニ交流会4回開催)
4月末	46%	新入会員4名加入(ミニ交流会5回開催)
5月末	56%	新入会員3名加入(ミニ交流会5回開催)
6月末	66%	新入会員3名加入(ミニ交流会4回開催)
7月末	80%	新入会員4名加入(ミニ交流会5回開催)
8月末	90%	新入会員3名加入(ミニ交流会4回開催)
9月末	100%	新入会員3名加入(ミニ交流会4回開催)
10月末	113%	新入会員3名加入(ミニ交流会5回開催)

	<p>③事業実施完了後の反響として、10月末に実施の理念共感プロセス評価シートにミニ交流会は次年度以降も定期的実施すべき取り組みであるとの設問を用意し、肯定的回答(「はい」「どちらかといえばはい」)の回答率が80%以上</p> <p>根拠:本指標において80%を設定した理由は、本事業が目指す拡大運動の運動化が個人の成功体験ではなく、組織としての共通認識に転換したかを測るためである。したがって55名規模のLOMIにおいて、80%にあたる約44名が次年度以降も定期的実施すべきと判断した状態は、拡大運動が一過性ではなく運動として定着した指標として十分だと言える。</p> <p>参. 23) 拡大意識・理念共感プロセス評価シート(10月)</p>
10. 対象者及び参加員数	<p>(対内) LOMメンバー55名(2025年11月21日現在)</p> <p>(対外) なし</p>
11. 事業区分	第7号事業 その他本会議所の目的を達成する為に必要な事業
12. .前回の上程より、ブラッシュアップした点	<ul style="list-style-type: none"> ・講師選定リストを作成 ・入会候補者体験プログラムの座組を変更 ・交流会チラシ(9月)を変更 ・セミナー講師の追加 ・経過報告書提出に伴う実施までのスケジュール、議案上程スケジュールへ日付の追記 ・交流会①の会場変更 ・3月、9月交流会チラシの修正 ・細かな資料、文言の修正 ・目的達成の検証方法の事業後を追加

事業予算・その他資料

13.	予算総額	¥50,000- 登録料: ¥0-	収支予算書へ		
14.	引用著作物の有無	無	15.	対外配布資料の有無	無
16. 審議対象資料			17. 参考資料		
1	交流会チラシ①(3月)		1	委員会年間事業計画書・予算 委員会基本方針	
2	交流会チラシ②(3月)		2	実施組織	
3	交流会チラシ③(3月)		3	前年度からの引継事項	
4	交流会チラシ①(6月)		4	メンバーへの依頼事項	
5	交流会チラシ②(6月)		5	広報戦略シート	
6	交流会チラシ③(6月)		6	会場図・会場設営イメージ図	
7	交流会チラシ①(9月)		7	講師選定リスト・選定理由	
8	交流会チラシ②(9月)		8	講師LOM経歴	
9	交流会チラシ③(9月)		9	拡大セミナー後アンケート	
10	異業種交流会後アンケートフォーム		10	会員数増減リスト(2011年~2024年)	
11	申込みフォーム(3月)		11	会員定着率(2013年~2023年)	
12	申込みフォーム(6月)		12	講師打ち合わせ	
13	申込みフォーム(9月)		13	拡大意識・理念共感プロセス評価シート(1・4・7月)	
14	講師等出演依頼承諾書(久保様)		14	2026拡大リスト	
15	講師等出演依頼承諾書(井浦様)		15	拡大実績(2013年~2024年)	
			16	SNS費用対効果検証	
			17	会場比較検討資料(セミナー)	
			18	年間拡大運動経過報告書(2026年度フォーマット)	
			19	シナリオ(セミナー)	
			20	シナリオ(交流会共通)	
			21	会場比較検討資料(交流会)	
			22	ミニ交流会管理表	
			23	拡大意識・理念共感プロセス評価シート(10月)	

前回までの流れ(意見と対応)

● 次年度第4回正副理事長会議

● 開催日 2025年 10月 31日 (金) 協議

- 意見1: 基本方針を拝見すると拡大の意識が低下しているという課題が書かれてたと思います。この計画書が達成すると拡大の意識は定着するので、すると5年後はもっと具体的なイメージが想像されたりしませんか。
- 対応1: 事業が運動化するには一定の期間が必要であり、持続的に継続する必要があると考えます。そうすることで自然と共感と共鳴が広がる未来があると思います。
- 意見2: 自らの活動を通じて共感の輪を広げるとはどんなことですか。
- 対応2: メンバー一人ひとりが自分の行動を通して理念を体現し、その姿に共感が生まれていくことを意味しています。
- 意見3: この計画書の目的は、30名入会させることとメンバーの低下した拡大意識を取り戻すことと感じているのですが合ってますか。
- 対応3: はい、方向性は合っています。ただし30名の入会は目的というよりも、意識を取り戻すことで自然に達成される成果として設計しています。
- 意見4: 事業経過報告書を毎月活用してみたいかがでしょうか。
- 対応4: ご提案ありがとうございます。経過報告書を各月の正副理事長会議、理事会に提出するスケジュールを実施までのスケジュール、議案上程スケジュールに追記しました。
- 意見5: 各交流会の集客目標、交流会での入会人数目標があれば教えてください。
- 対応5: 年間の拡大目標である30名入会を実現するために、各交流会ごとに段階的な集客・入会目標を設定しています。拡大運動全体では異業種交流会を3回(3月・6月・9月)実施し、加えて1メンバー1ミニ交流会を展開する構成です。1交流会につき5名の入会目標とし、残りの15名はミニ交流会で補完できればと思います。
- 意見6: 会員拡大セミナーで受ける拡大マインドの浸透状況を年間を通して評価していくことは考えられていますか。
- 対応6: 現状考えておりません。
- 意見7: 各交流会のチラシに統一感を感じないのですが、それぞれのチラシの意図はありますか。
- 対応7: ご質問ありがとうございます。開催時期や会場のイメージを踏まえ作成いたしました。
- 意見8: 背景の1文目に、課題感が書かれるが、2文目に理念共感を軸とした拡大運動を展開すると書かれているが、なぜ理念共感を軸とする必要があるのか。
- 対応8: 活動参加意欲の低下というところで、LOM、JCの理念が腹落ちしていないからこそ、活動の意欲が落ちていると考えておりますので、記載しております。
- 意見9: 理念共感という言葉だけだと伝わりづらいので、なぜなのかを記載した方が良いと思う。
- 対応9: 理念共感の必要性を追記させていただきました。
- 意見10: 事前質問した目的達成の検証方法について、②の質問に対して、はい、いいえでは意味が無いと感じる。セミナーを受けてから、意識したらできるようになって、その後無意識にできるといったプロセスがあると思うので、デイリーのアンケートなので評価していくと軌道修正が途中でできると思うので、検討してほしい。
- 対応10: メンバーの心理的変容、行動変容の経過が可視化できるよう、拡大意識・理念共感プロセス評価シートを新たに追加させていただきました。
- 意見11: セミナー開催にあたり、拡大マインドの醸成で久保先輩を呼ぶことにピンとこない。上田先輩のような方であれば理解できるが、他に候補はいなかったのか。
- 対応11: 前回の理事会では、拡大委員長経験者の渡辺洋介先輩に依頼することを検討していました。事業構築を進めていく中で久保先輩と新潟JCOBの井浦義太先輩が最も適任と考え、委員会で決定させていただきました。
- 意見12: 講師打ち合わせの内容を見ると、問題ないのかなと思うが、メンバーが多い時代に拡大を一生懸命していた方など、他にも適任の方がいるかもしれないので、ヒアリング等を行ったうえで選定してほしい。
- 対応12: 今回久保先輩を選定した大きな理由としては、人の興味を引き、魅力を植えつけられるかが重要であると考えております。そんな中で久保先輩は一族でもないのに今のポストまで上り詰めた実績と、多様な部署を経験されてきた経験値は拡大運動との親和性が非常に高いという風に考えております。ただ、拡大の実績だけでいったら他にももっと有力な候補者がいるのは事実であり、もっと広い枠組みで考えた時に新潟JCの井浦さんも適正であると感じております。昨年2024年度ブロック会長も歴任されており、自LOMはもちろんのこと、他LOMへの入会トスアップも多数されている方ですので、それぞれテーマを分けたW講師のハイブリッドセミナーでメンバー一人ひとりの意識変革を促し、燕三条青年会議所の強みや魅力を見つめ直すとともに、誇りを持って活動できるような人材へと成長してほしいと思います。
- 意見13: もし久保先輩から講師が変わるのであれば、例えば異業種交流会の前にセミナーを実施し、そこに久保先輩を講師として呼びするのもいいと思う。JCとしての学びを提供し、セミナーから交流会への流れを作ることも検討してほしい。
- 対応13: ご意見ありがとうございます。ハイブリッドで開催することも計画書を作成する段階で考えましたが、メリハリをつけるためにもセミナーと交流会はあえて分けさせていただきました。
- 意見14: ミニ交流会について、メンバーの数だけ開催するのか。

- 対応14: その通りです。
- 意見15: 10月までの開催とすると、単純に一月に6回のイメージかと思うが、率直にできるのかなと思う。
- 対応15: 今までと同じやり方では何も変わらないと考えております。大小規模を問わずとさせていただいた通り、メンバー個人のスタンスに合わせて自由に設計してほしいと思います。同日、別会場で開催するのももちろんOKですので、実現可能性は高いかと思えます。
- 意見16: どれだけ実際に行動できるかが重要なので、意識付けする仕組みなのか、リマインドするスケジュールなのか、それだけあれば意識付けできるのではないかと思うので、一考してほしい。
- 対応16: 意識付けから行動変容を起こすことが真の目的でもありますので、そこにフォーカスしていきたいと思います。
- 意見17: 事業詳細にも対内アンケートが出てくるが、参考資料にはないのか。
- 対応17: 作成し、参考資料に添付しました。
- 意見18: 広報戦略シートの中に、予算に入れているインスタ広告の記載が無いので、ただの投稿なのか、広告なのか分けて書いた方が良くと思う。
- 対応18: インスタの広告として記載させていただきました。
- 意見19: SNS広告を出すと、インプレッション数やクリックした数が見れる。過去の交流会のSNS広告データを見て、12,000円の費用をかけると、何人くらい来てくれるかっていうのは見極めができると思うので、評価してもらいながら現実的な広報戦略を立ててほしい。
- 対応19: 2023年・2024年のSNS広告による費用対効果を参考に、どの程度集客が見込まれるかを新たに記載させていただきました。
- 意見20: 拡大リストは新たに作るのか。今年のを引き継ぐのか。
- 対応20: 今年のをベースにする予定です。
- 意見21: 目的達成の検証方法で、ミニ交流回数に変更になった理由を教えてください。
- 対応21: 計画書の修正段階で、変えざるを得ない状況になったので、このようにさせていただきました。
- 意見22: 最終的には、入会人数が目的だったと思うので、元のを併記してほしい。
- 対応22: 元の新入会員加入数も併記させていただきました。
- 意見23: 1月～4月の入会予定人数が1～2人くらいで、5月～7月に5人程度に増えていくような、最初はスロースタートで、セミナー等の開催で増やしていくような傾向だったが、入会月ごと継続年数があれば、調べてもらいたい。感覚的に、年度の早い時期から入会した人の方が長く在籍している印象を受けるので、調査した上で数値検討してほしい。
- 対応23: 2013年～2023年までの11年間を年度・月別にデータを算出し、新たに記載させていただきました。
- 意見24: 次年度段階のうちに拡大リストの精査を行い、それをスケジュールに入れてほしい。
- 対応24: 2025年度最新版の拡大リストをもとに、2026年度版の拡大リストを追加させていただきました。

● 次年度第1回理事会

● 開催日 2025年 11月 28日 (金) 協議

- 意見1: これまでも交流会は開催されているが、入会につながっていない印象を受ける。それに対する工夫はあるか。
- 対応1: 2023年度の2月例会で異業種交流会を開催した際に、40名以上のオブザーブの方をお招きしましたが、その後のフォローができなかったために、候補者を発掘できなかったことを報告書で確認しています。また、当時の委員長へのヒアリングでも確認しています。候補者の発掘も大切ですが、拡大のマインドが限りなく低くなっていると感じていることから、一人一交流会をすることで、潜在的に眠っている拡大の意識を呼び覚まし、マインドの醸成を図りたいと考えております。
- 意見2: 企業訪問はOBOGの企業のみですか。
- 対応2: その予定です。
- 意見3: OBOGの企業訪問は、訪問する安心感や、LOMの状況を知っているところで寛容されやすいと思うが、OBOG関係なく訪問することで、自身の紹介を含めてアピールすることができると思うので、活発的に活動してほしい。
- 対応3: OBOGその他地場の企業訪問と記載変更させていただきました。
- 意見4: 会員数の増減リストについて、2013年度、2014年度は新入会員数が多い一方、資料を見ると退会者数も多かったようだが、退会人数が多い理由は確認しましたか。
- 対応4: 直接当時の委員長には伺っておりません。ただ、日本JCでも同じことが起きており、拡大のやり方が候補者のニーズとマッチしていないと考えております。日本JCのデータで退会者の数が年々増加していることを確認しており、1994年をピークにLOMの人数が減っております。その背景としては、強引な勧誘や入会候補者が理念に共感して入会していないことが課題としてあげられます。
- 意見5: 拡大セミナーの講師に久保先輩を選んだ理由を改めて教えてください。
- 対応5: 次年度正副でも同じ質問をいただきましたが、人に対してに魅力を伝える力、惹きつける能力というのは、お勤め先での役職や事業の内容をみても、かなり長けていると考えております。また、卒業して間もないことから現在のJCの課題をタイムリーに把握されていると考えているので、選定させていただきました。
- 意見6: 他に候補に挙げた方はいなかったのでしょうか。

- 対応6: 2013年度に拡大委員長をされた渡辺洋介先輩や、2013年～2024年までの拡大実績を調査したなかで相場健一郎先輩が群を抜いて拡大された実績をお持ちなので、適任と考え候補者として検討いたしました。
- 意見7: 協議段階のため、燕三条JCのOBだけではなく新潟ブロックや日本青年会議所の方も視野に入れて講師選定リストを作成し、セミナーの講師に適した方を選んでほしい。
- 対応7: 講師選定リストを作成し、その他候補者の枠組みを広げました。委員会でも話し合った結果、久保先輩は欠かせないことを念頭に新たに新潟JCのOBの井浦義太先輩をお呼びする運びになります。
- 意見8: 入会候補者体験プログラムの内容を教えてほしい。
- 対応8: 入会候補者体験プログラムについてですが年間拡大運動と年間オリエンテーションを行っている中での実施は委員会メンバーや新入会員への負荷などを考え行わないことにしました。
- 意見9: 開催時期や場所は考えていますか。
- 対応9: 対応8で記載した通り、入会候補者体験プログラムは削除しました。
- 意見10: 計画書上に記載されていると分かりやすいと思うので、一考してほしい。
- 対応10: 対応8で記載した通り、入会候補者体験プログラムは削除しました。
- 意見11: 入会候補者体験プログラムの対象者は、交流会に参加された方をメインに考えられているか。
- 対応11: そのように考えていましたが対応8に記載の通り、入会候補者体験プログラムは削除しました。
- 意見12: 交流会に参加する層と地域の課題を意識している層は違ったりするので、広報の仕方などを一考してほしい。
- 対応12: スタッフ、委員会で協議した結果、負荷が大きい面を懸念し入会候補者体験プログラムは削除しました。しかしながらご指摘の通りだと感じます。交流会に参加した方には個別で委員会へのオブザーブ参加を促していこうと考えています。
- 意見13: 交流会の参加費が高いように感じるが、金額設定に考えはあるか。
- 対応13: 金額設定については、物価高騰を踏まえ設定させていただいております。
- 意見14: 9月は特に高い設定になっているので、参加したくなるような工夫を検討してほしい。
- 対応14: 9月は他の交流会と比べ会費が高い代わりに人数をあらかじめ30名と制限することで特別感を演出しております。同時に参加意欲をあおぐ工夫として、交流会の見出しを変更させていただきました。
- 意見15: 背景の課題部分が目的に記載されていないので、もっと具体的に記載した方が良いと思うので一考してほしい。
- 対応15: 自らの活動を通じて価値を語り追記させていただきました。
- 意見16: 海外の青年会議所メンバーは皆JCが好きなので、個人インスタにJCに関連するハッシュタグをつけている。予算書にインスタ広告費用が記載されているが、海外のJCメンバーになれば不要なものであり、ここにいるメンバーがそれぞれハッシュタグをつければ発信されるので、一考してほしい。
- 対応16: おっしゃる通り、JCメンバーみんながSNS発信することの影響力は非常に高く、有効的だと思います。その一方でJC活動をプライベートアカウントで発信したくないという方も一定数いることは事実であります。メンバー個人アカウントからの発信協力を促しつつ、公式アカウントからも同時多角的に推進していきたいと考えます。
- 意見17: 拡大運動の意義を理解するために、セミナー以降に実施するものはあるか。
- 対応17: 月に2回、上旬と下旬にメンバー全員に拡大の進捗を確認する中で、意義を見い出してお伝えできればと考えています。

● 次年度第5回正副理事長会議

● 開催日 2025年 12月 16日 (火) 審議

- 意見1: 目的に記載のある自らの活動を通じて価値を語る、その語った内容はどこで抽出しますか。
- 対応1: 自らの活動を通じて価値を語るという点については、その語られた内容は新たに別途集めるものではなく、本計画書内で実施する各取り組みの中から自然に抽出される設計としています。具体的には、①ミニ交流会、②異業種交流会後アンケート、③拡大意識・理念共感プロセス評価シート、この3点を主な抽出ポイントとして考えています。
- 意見2: 交流会のチラシのコンセプトが3つとも異なるのですが、それぞれのチラシが届く先の方の年齢、職業、趣味、家族構成、ライフスタイル等のイメージがあれば教えてください。
- 対応2: 今までの交流会チラシのイメージを拝見する限り、フレームワークは基本一緒で、会場・日時を変えているだけの印象です。次年度はそれぞれの会場ごとのイメージに合わせて一新し、人脈形成、ビジネスチャンスの創出などの属性に分けて作成しました。
- 意見3: 3種類のコンセプトを作るのであれば、Web広告など数値反応が見えるもので3パターン展開してみて、ABテストの様に9月に向けて候補を絞り込んでいくなどは考えましたでしょうか。
- 対応3: そこまでは思慮しておりませんでした。頂いたご意見を踏まえ、3月・6月交流会のSNS広告を3種類で打ち、1番反応が良かったイメージをラストの9月交流会で採用してみたいと思います。
- 意見4: ミニ交流会は拡大リストの中の方だけでしょうか。
- 対応4: 拡大リストの方達だけではございません。身の回りのお知り合いや友人・知人など、拡大リストに記載されていない方達をミニ交流会に呼んでいただいで大いに結構です。もちろん拡大リストの中から参加者を募っていただいても構いません。20代～30代の方ならどなたでも大丈夫です。
- 意見5: 6月の交流会チラシのデザイン理由は何でしょうか。

- 対応5: 異業種交流会への参入障壁を下げるため、今までとは一風変わったデザインで作成しました。3回の交流会それぞれあえてチラシイメージを分けているため、3月・6月交流会のSNS広告を3種類で打ち、1番反応が良かったイメージをラストの9月交流会で打って効果測定と検証を行いたいと思います。
- 意見6: 拡大プロセスの中で、メンバーがミニ交流会で何を語って拡大に導いたかといったノウハウのようなものを集められるといいと思うので、アンケート項目に追加することを検討してほしい。
- 対応6: ご意見ありがとうございます。ミニ交流会を単なる実施管理に留めず、メンバーが何を語り、どのように共感が生まれたのかというプロセスを蓄積することは拡大運動を継続的に成長させる上で重要だと考えます。そのため、ミニ交流会後の進捗確認の際に、①語った内容②共感ポイント③工夫・気づきの3点をヒアリングさせていただき、左記内容をメンバー依頼事項に追記させていただきました。
- 意見7: 報告書において、どのチラシデザインが集客に効果があったのか検証するのか。
- 対応7: 可能な限り検証する予定です。
- 意見8: 3種類のチラシが、どのようなコンセプトで、ターゲットは誰なのか、狙いは何なのか、そこを明確にしながらか検証する必要があると思うので、その点も計画書に記載してほしい。
- 対応8: インスタグラムの広告に出す観点から、まずは視認性を意識したデザインとしております。そのうえで、会員拡大候補者である20歳～39歳をターゲットとしながら、潜在候補者を発掘するために、気軽に参加してもらうことが狙いです。
- 意見9: ミニ交流会は、メンバーをどのように管理して実施していくのか。
- 対応9: 月2回の電話で進捗確認し、新たに追加させていただいたミニ交流会管理表で管理をしていきます。
- 意見10: 計画書に記載しないとやらないメンバーが必ずでてくるので、ミニ交流会の進め方、管理の仕方を参考資料に加えてもらいたい。
- 対応10: ご意見ありがとうございます。ミニ交流会の実行にばらつきが生じないように、進め方および管理方法については参考資料2のミニ交流会管理表をもとに対応いたします。
- 意見11: 新しい絆メンバーと一緒に行動しないと、管理しただけではメンバーは動かないと思うので対策を考えてほしい。
- 対応11: ご指摘のとおり、管理を行うだけではメンバーの主体的な行動にはつながらず、委員会としての関わり方が重要であると認識しております。そのため新しい絆委員会としては、ミニ交流会の実施状況を管理するだけでなく、必要に応じて委員会メンバーが同席・同行するなど、伴走型での支援を行う体制を行えたらと考えております。
- 意見12: 拡大に当たり、LOMの紹介パンフレットをアップデートする予定はあるか。
- 対応12: 現状予定はございません。
- 意見13: データを整えて、最新のものにできれば拡大する際のツールとしていいと思うので、検討してほしい。
- 対応13: 申し訳ございません。そこまで出来れば理想ではありますが、現状そこに充てる予算余力がないため、現行通り使用しない方向に進めさせていただければと思います。
- 意見14: 拡大ができなかったときにどう動くかが重要。その後の動きまで計画書に落としこんでほしい。
- 対応14: その内容についてはメンバー依頼事項に追記しました。
- 意見15: 予算の代行費用が不足しないか精査してほしい。
- 対応15: 井浦氏に確認連絡させていただき、宿泊する方向に変更となったため収支予算書も変更させていただきました。
- 意見16: 拡大リストの具体的な使用方法はあるのか。
- 対応16: 月2回の進捗確認の際に使用し、経過報告書に添付して常に最新の状態のものを共有させていただきます。
- 意見17: 誰がリストを集約して、追加するのは事前に担当を決めたほうがいいと思うので検討してほしい。
- 対応17: 実施組織に最終精査として、田中執行理事を追加させていただきました。

● 次年度第2回理事会

● 開催日 2025年 12月 23日 (火) 審議

- 意見1: 廣田委員長は2025年度拡大活動をとても多く行っていた印象があります。中々拡大につながらないことに関して、この計画で廣田委員長も自身の拡大成功につながると考えますか。
- 対応1: 拡大に関しては種まきから芽吹くまで一定期間を要し、入会のタイミングはこちらではコントロール出来ません。強引な勧誘によりニーズが理念とマッチせず、会員の定着率に繋がらないような拡大はしないよう心がけています。何をもって成功するかは分かりませんが、理事長所信に掲げた30名の新規入会者の実現と、拡大運動の組織体制を2026年度は見直して運動化に繋げていきたいと考えています。
- 意見2: ミニ交流会は1月1日～開始と記載されているが、周知はどのように行うことを考えているか。
- 対応2: 電話により周知したいと考えています。
-

●議案上程スケジュール

回数	事業計画・予算			回数	事業報告・決算		
	諸会議名	開催日時	議事		諸会議名	開催日時	議事
● 次年度 第4回	正副理事長会議	2025年10月31日	協議	● 第2回	正副理事長会議	2026年2月10日	経過報告
● 次年度 第1回	理事会	2025年11月28日	協議	● 第2回	理事会	2026年2月20日	経過報告
● 次年度 第5回	正副理事長会議	2025年12月16日	審議	● 第3回	正副理事長会議	2026年3月12日	経過報告
● 次年度 第2回	理事会	2025年12月23日	審議	● 第3回	理事会	2026年3月23日	経過報告
				● 第4回	正副理事長会議	2026年4月10日	経過報告
				● 第4回	理事会	2026年4月22日	経過報告
				● 第5回	正副理事長会議	2026年5月6日	経過報告
				● 第5回	理事会	2026年5月22日	経過報告
				● 第6回	正副理事長会議	2026年6月11日	経過報告
				● 第6回	理事会	2026年6月23日	経過報告
				● 第7回	正副理事長会議	2026年7月10日	経過報告
				● 第7回	理事会	2026年7月24日	経過報告
				● 第8回	正副理事長会議	2026年8月10日	経過報告
				● 第8回	理事会	2026年8月21日	経過報告
				● 第9回	正副理事長会議	2026年9月11日	経過報告
				● 第9回	理事会	2026年9月25日	経過報告
				● 第10回	正副理事長会議	2026年10月9日	経過報告
				● 第10回	理事会	2026年10月23日	経過報告
				● 第11回	正副理事長会議	2026年11月11日	告知
				● 第11回	理事会	2026年11月20日	告知
				● 第12回	正副理事長会議	2026年12月10日	審議
				● 第12回	理事会	2026年12月21日	審議